

信頼は未来を豊かにする



青木被服 株式会社

715-0006 岡山県井原市西江原町501
<https://www.aokihifuku.co.jp/> 0866-62-1105

在籍する職種 デザイナー / パタンナー / 営業 / 生産管理
事務 / 縫製 / 裁断

多角化の歴史の中で培ってきた 職人技術を生かして。

青木被服は、「日本のデニム生地」の聖地と呼ばれる井原市で、1961年にデニム製品やユニフォームを受注生産する会社として創業しました。生地から製品までを産地内で行える環境を作りたいとの思いから始めたといいます。そして、1970年代には、デニム生地の生産が活況に呈したことに伴い、子供や婦人向けジーンズのOEM生産に注力しました。

2010年、デザイナーである青木俊樹氏の入社と同時に、自社ブランド「FAGASSENT / ファガッセン」を立ち上げ、パリ、ミラノにてメンズコレクションの発表を開始しました。2016年には井原デニムを着物におとし込んだ粋な大人のデニム着物ブランド「DENIM KIMONO」の開発チームを設置するなど、デニム産地ならではの上質な素材を生かした製品展開をしています。いずれも大量生産・大量販売型ではなく、多角化の歴史の中で培ってきた自社工場の職人技術を生かし、高付加価値商品を提供するデニムブランドを目指しています。



KIMONOTとのコラボレーションにより、日本古来の伝統衣装「キモノ」を現代の生活スタイルにTシャツとしてアレンジ。前面に「レザー×デニム」のポケットを施し、バックスタイルは青木被服のロゴリベットとKIMONOTのブランドネームがアクセント。デニムファクトリーが制作する「2秒で着れるキモノ」をテーマに日本の方だけでなく、海外の方にも人気です。全2種類をオンラインや店舗で販売しています。